

ユニバーサルな社会を 作るプロジェクト

岡山理科大学教育学部中等教育学科国語教育コース2年生有志

板谷英美 大熊杏海 川手怜奈 西野佳那 足立旭 土井くるみ

奥村浩暉 小野吏駒 久保勇統

プロジェクトの内容

- 岡山市には障害のある方が気軽に利用できる飲食店が少ないので、障害のある方が利用できるお店を探しマップにまとめる。
- また、外国人、妊婦さん、子供連れの方も気軽に飲食店に入れることが分かるシールを作り、配布する。

活動報告

- 7月から9月

各施設に行き、見学し、利用者の方や職員の方からお話を聞く、セミナーやイベントに参加した。

実際にお話を聞いたり、イベントに参加することで障害者、高齢者、妊婦さん、外国人の自分たちが気づいていない困っている部分を知ることができた。



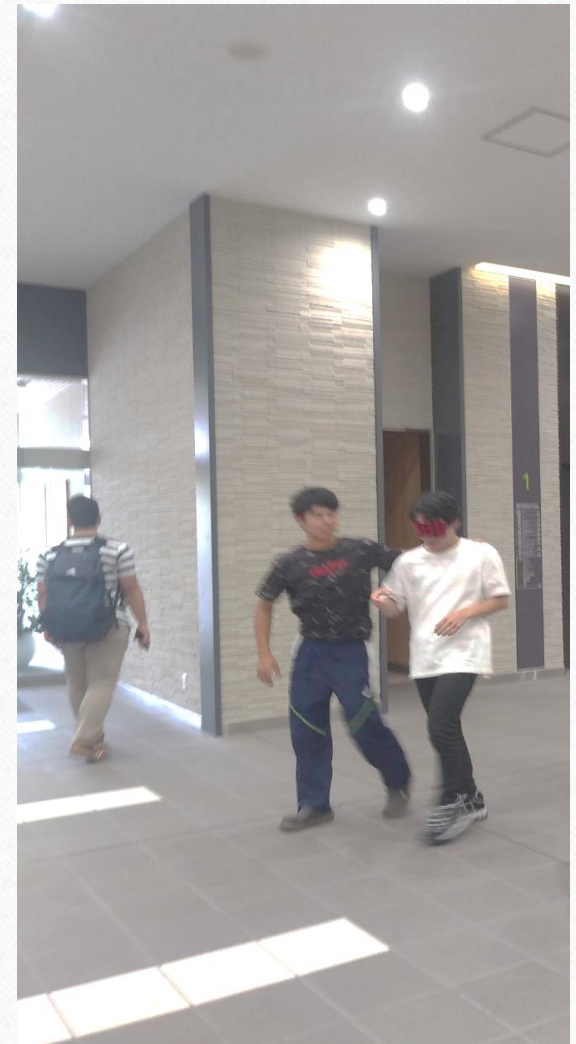
・10月 福祉体験

アイマスクをつけて視覚障害の体験、耳栓をして聴覚障害の体験、車いすに乗る、おす体験をした。

そして、とろみのついた飲み物や介護食を食べて高齢者や認知症の方の食事を体験した。

実際に体験することで障害者の困っている気持ちをより身近に理解することができた。

体験しないと分からないこともたくさんあった。食事については味や食感をより感じる事ができた。



課題点

- お話を聞いたり、イベントに参加してみて、障害者や妊婦さん、外国人、子連れの方で飲食店に入りづらい、迷惑になってしまうと遠慮されている方が多いと感じた。
- トイレに行くとき、和式であったり、多目的トイレがないと不便を感じる人が多い。
- 気軽に利用していいお店かどうか表示やシールがないので遠慮してしまう。

今後の予定

10月後半から

- 実際に岡山駅周辺を車いすでまわる。
- 協力してもらえる飲食店を探す。
- マップ作りに取りかかる。
- シールづくりに取りかかる。

12月

- シール、マップを配布する。

